

## 第5回日本ヒトプロテオーム機構大会に参加しました

2007年7月30日～31日に日本科学未来館（江東区青海）で開催された「第5回日本ヒトプロテオーム機構大会」に参加しました。

今大会は、近年メディア等で注目されることの多い「タンパク質の機能解析」分野の企業、約40社が展示ブースを設けて行われました。

今回の大会のテーマ「プロテオミクス生物学から医科学研究へ向かう新たな潮流」とあるように、プロテオーム研究は第二フェーズに突入し、タンパク機能との関連を重視する研究が多く発表されていました。

近い将来質量分析は、ライフサイエンスやナノテクノロジーに欠かせない測定技術として、医療にもあたりまえに利用される時代がまもなく到来することを予感する大会でした。

PSSブースでは煩雑で時間のかかるタンパク質試料前処理の効率を飛躍的に向上させる自動化システム「ProScope FK-8」を展示いたしました。

「ProScope FK-8」はメジャータンパク質除去から濃縮・バッファ交換までシームレスに行える機器です。プロトコルの設定や、CCDカメラによる液面制御・各社遠心式フィルターユニットを搭載することによって、様々なタンパク質アプリケーションに対応することが出来るなどの特徴を、質量分析を手がけておられる研究者の方へアピールすることができました。

PSSとしては、バイオマーカー探索を研究している先生方や企業や質量分析装置メーカー等との共同開発を通して、優良なデータを得ることと同時に、様々なサンプルからの処理(アプリケーション)を充実させて、タンパク質前処理での世界標準システムを目指します。

